

不憫な青葉が
可愛くて可愛くて
仕方ないっ!!

おしっこ
PISSING
飲 尿

寝取らせ
NTR
乱 交

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

この本はかつてサークル【シカのひづめ】さんと合同で出していた『不憫な青葉が可愛くて仕方ないっ!!』シリーズの精神的続編となっております。物語的に繋がりなどは一切なく当作品だけでも普通に楽しんでいただけますが、既刊シリーズも併せて読んでいただくとより一層不憫青葉の世界を深く楽しんでいただけるとと思います。



見ているだけで涙が出そう——。
不憫な青葉をいっぱい詰め込みました。

適齢期に食中毒/シカのひづめ文庫



この世界の片隅で
青葉だけは不憫であり続けてほしい——。

適齢期に食中毒/シカのひづめ文庫



大好きなあの人との
幸せな日々が待っているんだ…!

あの青葉ちゃんが幸せになってまさかの再登場!!
幸せの絶頂の青葉ちゃん! 幸せが待っている青葉ちゃん!
幸せ!! 幸せ!!! 幸せ!!!! 幸せ青葉の大安売りだ!!
さああなたも青葉ちゃんに癒されよう!
幸せ青葉と不憫な青葉のお得なりパーシフル仕様。

適齢期に食中毒/シカのひづめ文庫



不憫青葉総集編

沢村吉
シカジマ

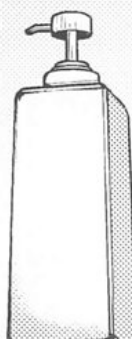
不憫青葉文庫

適齢期に食中毒
シカのひづめ

この漫画には犯罪行為は恐らく出てきませんが決して真似しないようにしましょう。

“青葉のおしっこ飲ませて”

司令官の思いつきの命令が始まりました。
司令官はとても優しいですが時々無茶な要求をしてくれます。
おしっこを飲ませるなんて汚いことしたくありません。
でも思い通りにならないと怒るので青葉は言うことを聞きます。



……



お風呂場で司令官の口に青葉のあそこを当てて力みましたが、
羞恥心と申し訳なさでおしっこは出ませんでした。
焦れば焦るほど尿意が遠ざかっていきます。
司令官が疎ましそうに青葉を見上げています。

“ごめんなさい：おしっこ出なくてごめんなさい：”
“じょうがないなあ：じゃあ俺のおしっこ飲んでくれたらいいよ”

司令官は不甲斐ない青葉を
許してくれました。
やっぱり司令官は優しいです。



司令官のおちんちんを口に
啜ってしばらくすると
チヨロロ...と少しずつ
おしっこが出できました。



このぐらいなら何とかちよつとずつ
飲み干せばいけるかも...と思っていたら
突然堰を切ったように大量のおしっこが
流れ込んできて口の中を満たしました。



司令官のおしっこは想像を絶するほどの苦さと臭さでした。
ツンとした刺激臭などという生易しいものではなく、
生理的に身体が拒むような重たい不快感でした。

どんなに好きな人のおしっこでも
甘い香りはしないんだとか
妙に冷静に考えていました。

耐えきれず思わず口を離してしまつと
生暖かい液体がこぼこぼと音を立てて
口の中で飛沫になりました。
本当に小便器にされてしまったようで
余計に惨めな気持ちになりました。

司令官はふたたびおちんちんを
青葉の口内に押し込み
最後の一滴まで出し切りました。
ちやんと飲めよという無言の圧を感じました。



俺だったら好きな人のおしっこぐらい飲めるけど
青葉の愛情はその程度なんだね。
もういいよ吐き出して。
その代わりお尻でするからね。



何とか口の中に溜め込む時間を短くして
一気に飲み込もうとしましたが、
身体が拒否してしまっただけで、
どうしても飲み込めません。

わずかに喉奥に侵入しただけで
胃液が逆流してきそうになります。
青葉が飲み込めずに頬張っていると、
司令官は鬱陶しそうにため息をつき、



青葉の愛情が足りなくて
ごめんなさい…。

吐き出しても口の中にはずっと
おしっここの臭いが滲んでいました。

もわっ

もわっ…



司令官に言われてアナル洗浄と拡張を行っています。
まずはローションをたっぷり塗った指を入れていきます。
最初は第一関節まで入れた辺りが限界でした。
それでも何とかお尻の力を入れたり緩めたり、
二本を増やしてみたり、アナルピースを使ってみたり…
横向きになって膝を曲げると入れやすくなること分かりました。
こんなことに詳しくなりたくなかったなあ…。

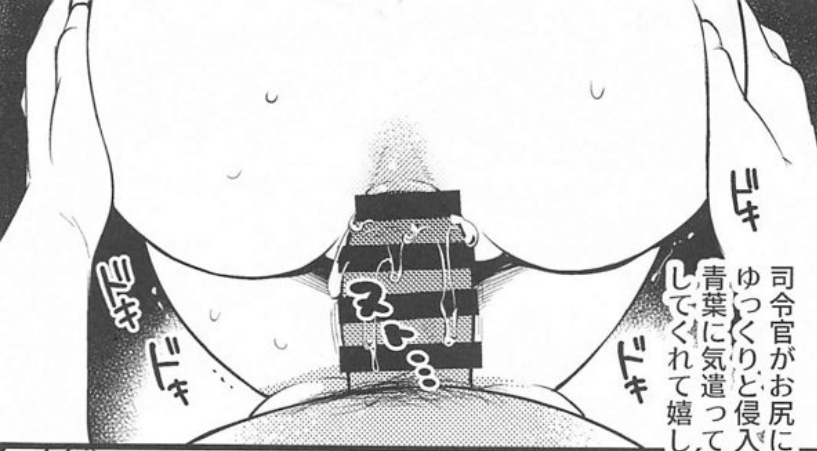
司令官はこの体験を記事に
活かせばいいじゃんと言っていました。

こんなこと記事に出来ないよ…。

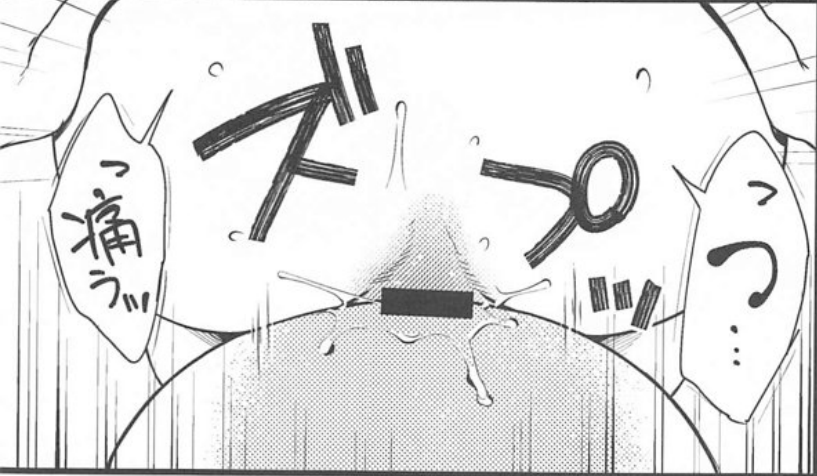
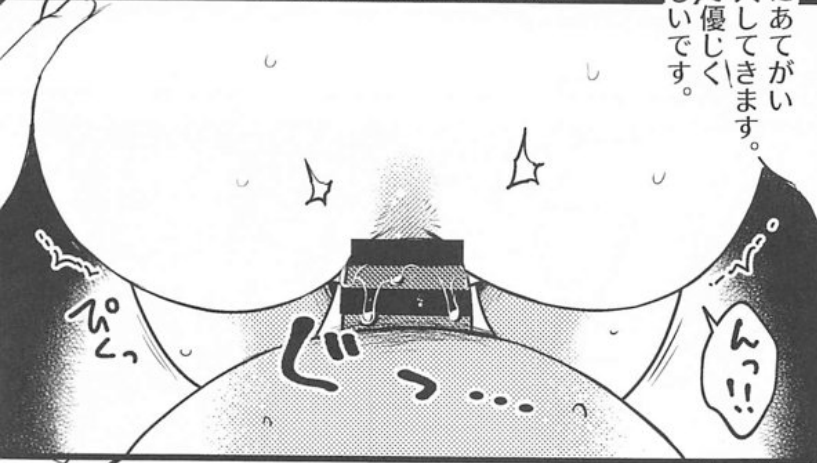


なんて惨めな姿なんだろう…
これが誇り高い艦娘のすることなのかな…
っ痛い…

冷静になると自責の念に駆られてしまうので
司令官の喜ぶ顔を思い浮かべます。
青葉、司令官のためなら何でも出来ますから。

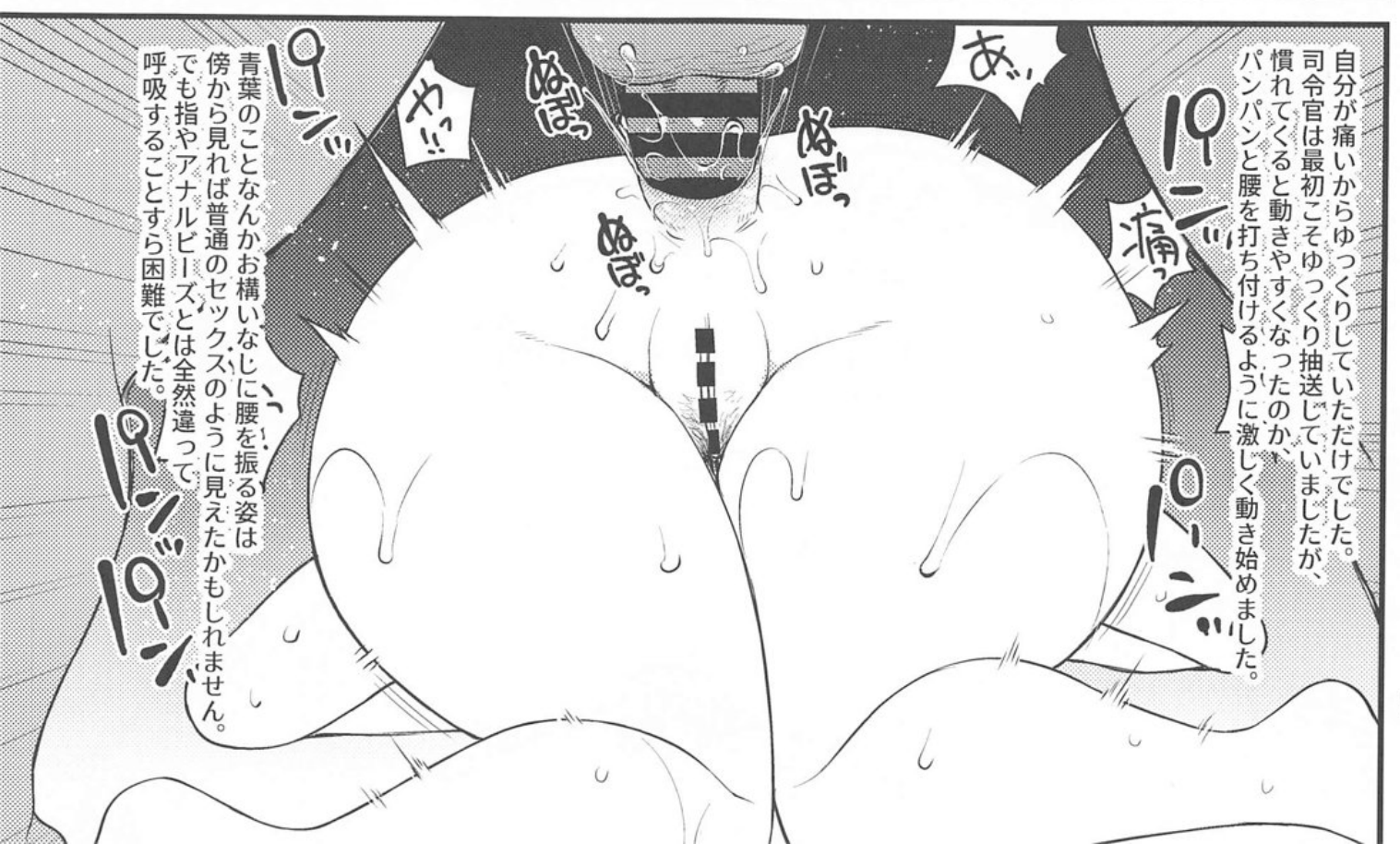


司令官がお尻にあてがい
ゆっくりと侵入してきます。
青葉に氣遣って優しく
してくれて嬉しいです。



司令官が青葉の肛門を拡げて確認します。
ええ？ これで入るかあ？ 拡張足りないんじゃないの？
司令官は不満そうでした。

青葉、頑張ったのになあ...



自分が痛いからゆっくりしていただけでした。
司令官は最初こそゆっくり抽送じていましたが、
慣れてくると動きやすくなつたのか、
パンパンと腰を打ち付けるように激しく動き始めました。

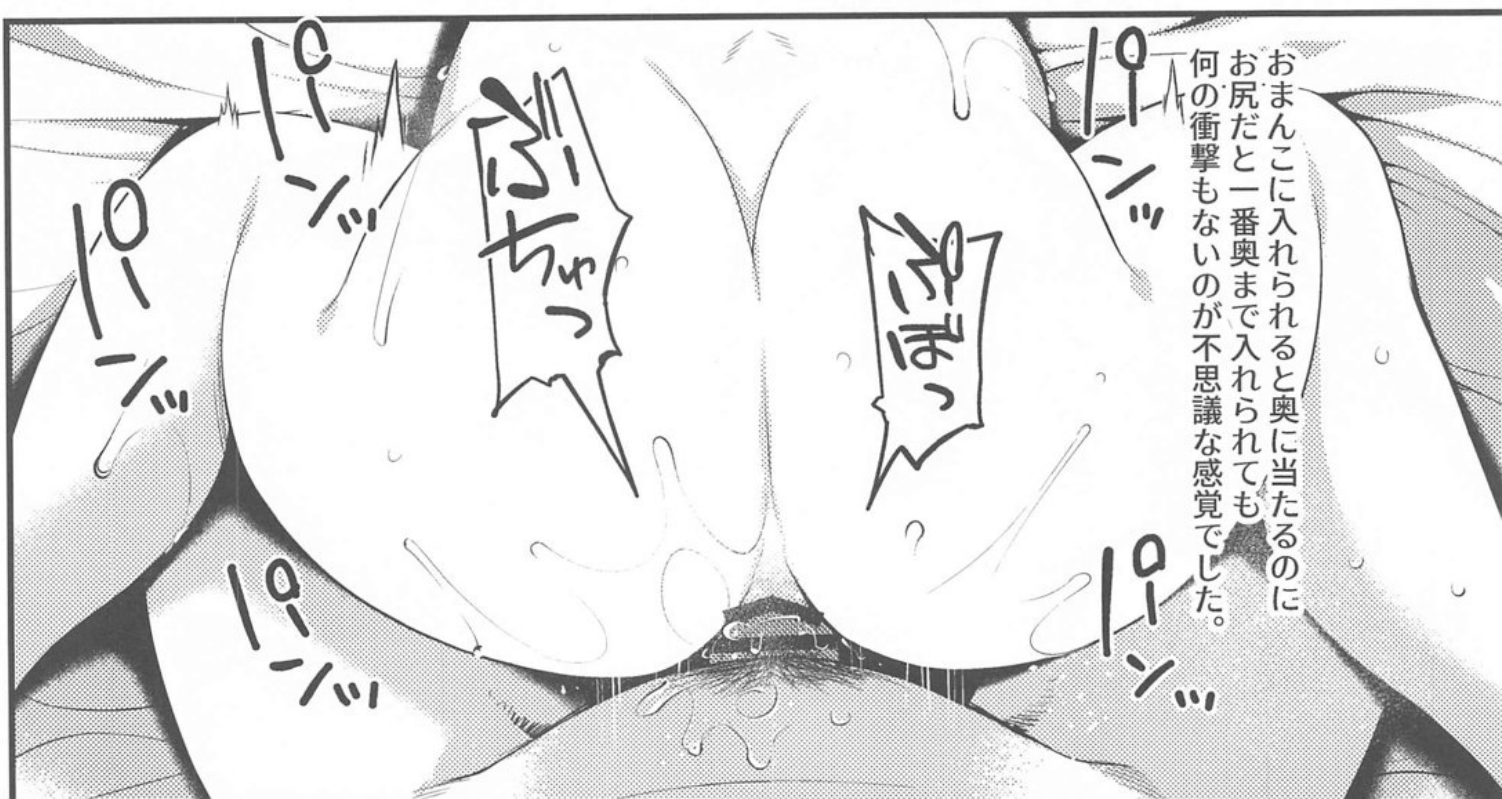
青葉のことなんかお構いなじに腰を振る姿は
傍から見れば普通のセックスのように見えたかもしれませんが
でも指やアナルピースとは全然違って
呼吸することすら困難でした。



正直に言うとうまくなくて苦しただけで
漫画のように気持ちいいなんてありません。
でも司令官が気持ちよくなつて
くれていると充実感で満たされます。



出し入れを繰り返されるたび
お尻の穴がめくれ上がって
いくのが分かります。



おまんこに入れられると奥に当たるのに
お尻だと一番奥まで入れられても
何の衝撃もないのが不思議な感覚でした。

そのまま容赦なくお尻の中で出されました。
まだ入っているのか抜かれたのか
その感覚すらも分からなくなっていました。
押し広げられたお尻の穴がじんじんと痛みます。

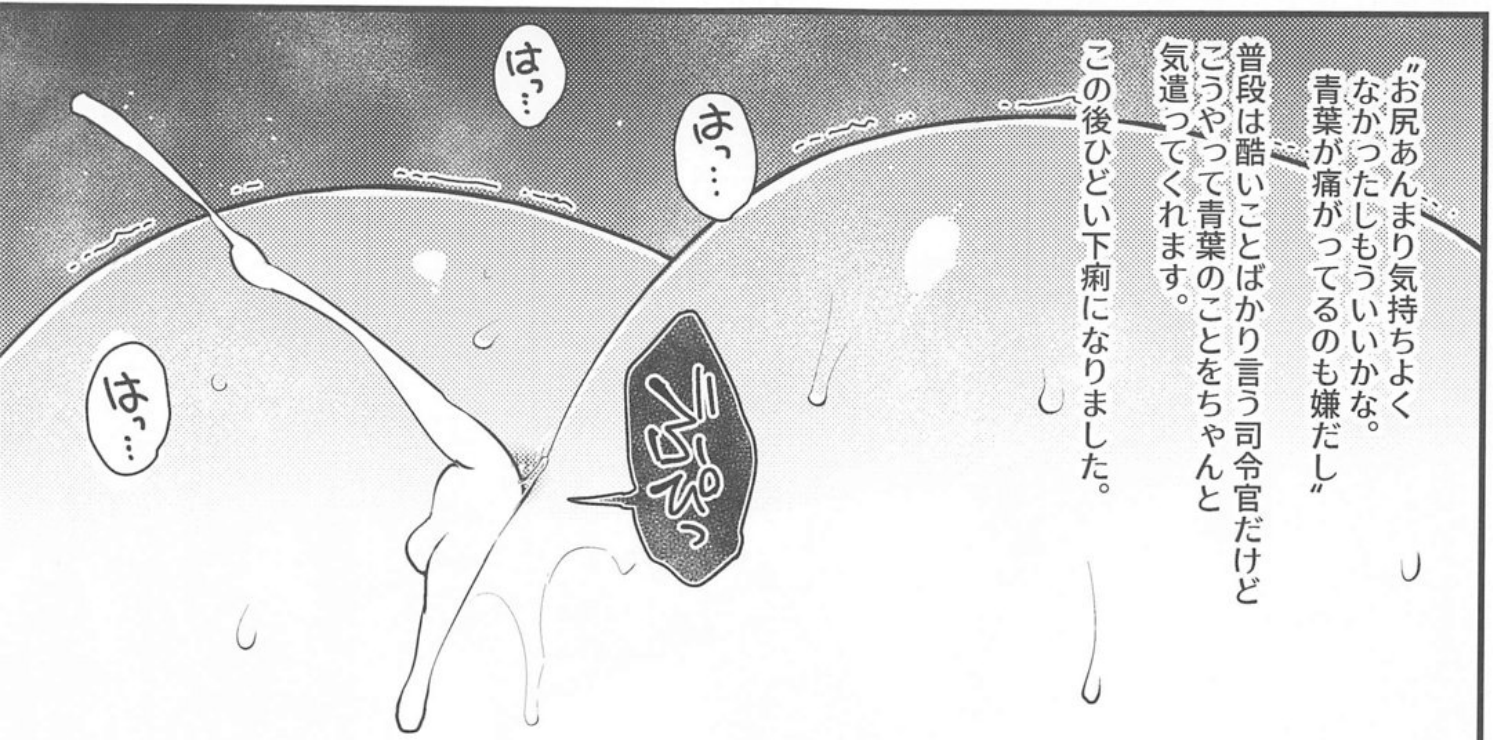
それでもこの痛みも
司令官が気持ちよくなつた
証拠だと思つと愛おしささえ
込み上げてきます。



「お尻あんまり気持ちよく
なかつたしもういいかな。
青葉が痛がつてるのも嫌だし」

普段は酷いことばかり言う司令官だけと
こうやって青葉のことをちゃんと
気遣ってくれる。

この後ひどい下痢になりました。



「バツ撮りしてこい。
それが無理なら射精させて飲んでこい」

司令官に他の男の人と
デートしてくるよう命じられました。

それだけはやだつて言ったら、
じゃあ別れると言われて従わざるを得ませんでした。



「久しぶり。今度の日曜日暇かな？
ちよっと相談したいことがあるんだけど…」

久しぶり

昔の知り合いの男の人に連絡を取って
カラオケボックスに行きました。



誘惑する方法なんて知らなかったから
部屋に入って曲を選んでいる彼にもたれかかって
「好きにしていよいよ…」
って嘔きました。





吐き気がします。



すごく嫌で嫌で仕方なかったけど相手の望むことを拒むと言われていたので我慢しました。

ただ心を無にして時が過ぎるのを待とうとしましたが彼の荒い鼻息が思わず青葉の心を引き戻しました。

彼は最初戸惑った素振りをしていましたが、内心期待していたのか青葉の身体を触つてきたり抱きしめてキスをしてきました。



彼は青葉の唇を舐め回して口をこじ開けようとして来ましたが、必死に唇を閉じて

“舌は入れられないように守ったよ...”
って心の中で言い訳してました。

青葉ちゃんっ

青葉ちゃんっ

青葉ちゃんっ

ふらふらした足取りで何とか家にたどり着きました。
司令官はすぐに青葉の話を聞きたがりでしたが、
気持ち悪くてすぐに洗面所に駆け込んで嘔吐しました。
歯磨きをしてひとまず眠りたかったけど、
司令官はとも興奮していて青葉の口に無理矢理
ねじ込んでそのまま射精しました。
待っているあいだ本当に興奮していたようです。

一度射精しても全然萎えていない司令官は
汚れた青葉の身体を抱いてくれました。
してる最中もずっと彼とどういいう会話をしたかとか
どういいう気持ちだったかとか根掘り葉掘り聞かれました。
舌を入れられないようにしたことは褒めてくれませんでした。

その時の司令官は本当に激しかったです。
司令官は抱きながら売女!!とか淫売!!とか青葉を罵りました。
自分が命令したのに……
でもどんなに怒鳴られても司令官に触られるのは
あの人に触られるのと違って安心できました。

ことが終わったあと司令官は

「写真映り悪いな……もっと嬉しそうにしててくれなきゃ
俺が悪いことしてるみたいじゃん」

と言いました。
ごめんなさい司令官……青葉、撮られるのは苦手なんです。

司令官に求められる限り青葉はここにいられるから…。



■
不憫青葉。不憫青葉です。
元々は青葉ちゃんがひたすらDVやパワハラを受ける全年齢向け本を出していたのですが、
いつかR-18版を出そうとっていてようやく念願叶いました。

■
自分が艦これに興味を持ったきっかけは加賀さんだったのですが、
プレイしていくうちに青葉ちゃんが持つ健気さやひたむきさに惹かれ、
やがて青葉ちゃんばかり描くようになっていました。
青葉ちゃんの明るさは自己評価の低さを覆い隠すベールで、
そのベールは薄皮一枚なのです。

■
ひたすら青葉ちゃんをいたぶる司令官も実は自己評価が低く、
艦娘から無条件に愛情を向けられることに不信感を募らせ
やがて愛情を確認するかのよう青葉ちゃんを試すようになりました。
こういう人間はいたぶれる相手を見抜くのが非常に得意です。
青葉ちゃんが司令官に依存しているように見えて司令官も青葉ちゃんに依存しているのです。
ロクな関係ではないですね。

■
初期タイトル案は『嫌だと言ったら愛してやるさ!!』でした。

沢村青

不憫な青葉が可愛くて可愛くて仕方ないっ!!

発行:適齢期に食中毒

著者:沢村青

mail:sawamura_ao@yahoo.co.jp

twitter(X):@sawamura_ao

pixiv:<https://www.pixiv.net/users/8615118>

fanbox:<https://sawamuraao.fanbox.cc/>

発行日:2023年12月30日

印刷:日光企画

Comic Market 103

